



代表取締役会長  
山田 邦雄

ロート製薬は1899年の創業から今年で120周年を迎えました。

当社は創業以来、胃腸薬、目薬、外皮用薬（メンソレータム等）、2000年以降は「Obagi（オバジ）」「肌ラボ」等ビューティー関連商品の幅広い商品開発を行ってまいりました。2013年からはアグリ事業、レストラン等の食ビジネス、最先端の医療である再生医療事業への挑戦も行っており、「健康と美に関する、あらゆるソリューションを提供する会社」を目指し、日々活動しております。

これまでの歴史は、「こだわり」「挑戦」「人がやらない事をやる」といったロートに脈々と流れるDNAを持つ先人達により作られてきました。常識破りの化粧品、誰もが無理だと思う難易度の高い課題へも「難しいからこそ、やる」と挑戦し、成功と失敗を積み重ねてきました。

そして、120周年を迎え、新経営体制のもと、さらなる飛躍を目指して取り組んでまいります。

私たちが目指すこと、それは「健康寿命」への挑戦です。「健康」は、誰もが願うことであり、幸せの源です。心身ともに健康であるだけでなく、社会に貢献できること、それこそが真の「健康」と考えています。

ロート製薬の経営理念である「七つの宣誓」には「まず人がいて、輝いてこそ企業が生きる。主役は人、一人ひとりが自らの意志と力で自立し、組織を動かしていきます。」という宣言があります。人の力を信じるからこそ、人々が健全に、社会に貢献する達成感を感じながら、生き活きと生活を送れるような世の中をめざし、挑戦を続けていきたいと考えています。

新しい事、人がやっていない事をする時、時に孤立することもあり、反対に合う事も多くあります。それは、勇気がいるけれど、新しい価値は、その一歩が無いと生まれません。

自分を貫くことを、挑むことを、恐れないこと。

「社会を支え、明日の世界を健康にする」新しいロート製薬の挑戦はすでに始まっています。

今後もより一層、皆様のご期待に添えますよう全社一丸となって努力し続けてまいります。

私は、当社第83回定時株主総会後の取締役会決議におきまして、代表取締役社長に就任いたしました。健康寿命への挑戦を掲げているロート製薬とご縁があり、2019年1月に入社いたしました。健康寿命と平均寿命のギャップを埋めていくこと、これは国家の最重要課題の1つだと考えています。その中において、ロート製薬は、「健康」というテーマを高所から俯瞰して捉え、医薬品だけに限らず、様々な分野に挑戦し、人々の健康に幅広く貢献しています。

健康のまま人生を謳歌したいという願いは万人の願いであり、それを叶えるべく果敢に挑戦していきます。今後もお客様の声に真摯に耳を傾け、タイムリーにニーズにマッチした製品を提供し続けていきます。そのためには、更に盤石な収益基盤を構築していくことが不可欠です。まずは、業務プロセスの最適化、構造改革にしっかりと取り組んでまいります。その上で、人々の健康に貢献できる新たな分野にもチャレンジし、健康寿命の延伸を追求していきたいと考えております。

気を引き締めて事業運営にあたらせていただきますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。



代表取締役社長  
杉本 雅史

「生き延びるためには、私たちは変わらなければならない」

We must change to remain the same.

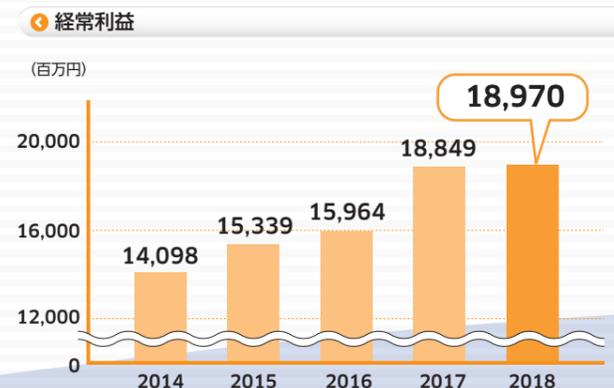
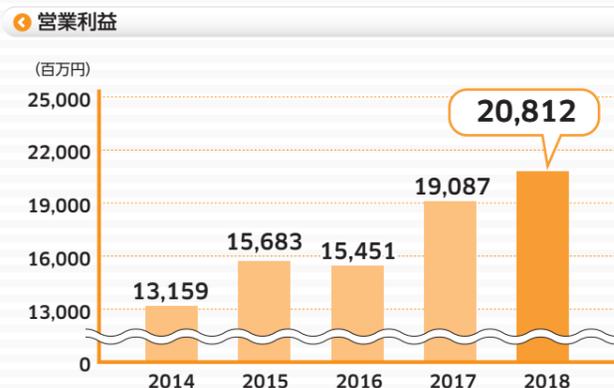
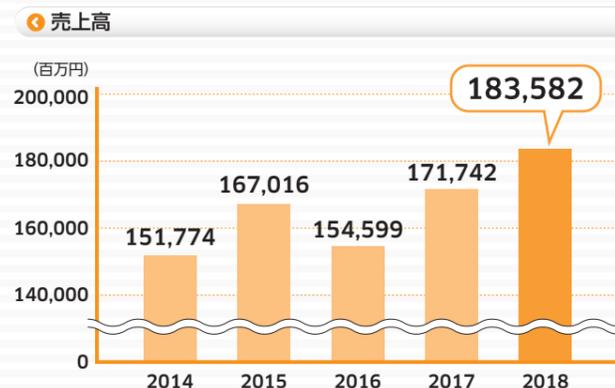
役員

- 代表取締役会長 山田 邦雄
- 代表取締役社長 杉本 雅史
- 取締役副社長 ジュネジャ・レカ・ラジュ
- 取締役副社長 斉藤 雅也
- 取締役 國崎 伸一
- 取締役 山田 哲正
- 取締役 上村 秀人
- 取締役 力石 正子
- 取締役 瀬木 英俊
- 社外取締役 松永 真理
- 社外取締役 鳥井 信吾
- 社外取締役 入山 章栄
- 常勤監査役 木村 雅則
- 常勤監査役 榎本 健
- 監査役 藤巻 光雄
- 監査役 天野 勝介

会社概要

社名	ロート製薬株式会社 ROHTO Pharmaceutical Co., Ltd.
創業	1899年(明治32年)2月22日
設立	1949年(昭和24年)9月15日
資本金	6,446百万円
従業員数	1,474名
主な事業内容	医薬品・化粧品・機能性食品等の製造販売
事業所	本社 〒544-8666 大阪市生野区巽西一丁目8番1号

会社の業績(連結) (2018年4月1日～2019年3月31日)



社外取締役



社外取締役  
入山 章栄

ロート製薬について初めて関心を持ったのは、関連会社であるメンソレータム社のある米NY州パツファローで、ロートの社員の方と親しくなったのがきっかけです。それ以来、山田会長との交流や様々な機会を通じて、ロートの魅力に触れてきました。

私のロートに対する印象は、製薬会社なのに売上の半分以上が製薬以外だったり、率先して副業を解禁するなど、とにかく「面白い会社」というものです。

社外取締役の立場からは、この「面白さ」の魅力を保ったまま、さらに世界に貢献できるような企業にするにはどうすればいいかについて、経営幹部や社員の皆さんと一緒に考え、結果としてさらに透明性のあるガバナンスと高い企業価値を実現することに貢献できればと思っています。



社外取締役  
松永 真理

ロートで最初に感じたことは、元気な女性が多く活発な意見が交わされていること、そして、経営との距離が近いことです。

コーポレート・アイデンティティ「NEVER SAY NEVER」が社員の中から生まれてきた(他社では代理店に丸投げするケースが多い)のにも感心しましたし、人事制度改革のプロジェクトからダブルジョブの新しい概念を打ち出したこともお見事でした。「ずっと成長し続ける社員であるために」というコンセプトは素晴らしいものでした。

ただ、他社と比べてそれだけ個人やプロジェクトは活性化しているのに、事業としてのダイナミズムにはまだ欠けているように思えてなりません。

それは、市場の多様化を捉えた、本来のダイバーシティ組織にはまだ足りていないからだだと思います。ダイバーシティ組織とは、市場の多様化に応えるためにこれまでの単一文化風土から創発型の組織に変え、新たな市場を開拓していくことです。

現場の多様なアイデアを取り込み、創発的な意思決定と実行を期待しています。もっとチャレンジングであって欲しいと願っています。

ロート製薬は大きな変革と発展を遂げてきた。家庭医薬からスキンケア事業へ、農業、食、さらにiPS細胞研究など新規分野への参入、海外市場への積極進出など、「健康と美」の枠を大きく広げて新しい事業領域を次々と開拓、増収増益を獲得した。これはロート製薬の「健康」に対するあくなき挑戦、社員の自由闊達な風土、経営者の強い意志とリーダーシップの賜物である。

また社員主導で立案されたプロジェクトも多々あることは素晴らしいと思う。トップダウンだけでなく、社員の、特に若い人から沸き起こるエネルギーこそが企業活動にとっては必要であり、このエネルギーが社員一人ひとりのDNA となって、後世まで受け継いでいってほしいと切に願う。

ロート製薬の創業者 山田安民は、「貪欲に学ぶ」「トコトン考える」「まずやってみる」と言った。サントリーもロート製薬と同じ1899年に創業、創業者 鳥井信治郎は「やってみなはれ やってみなわかりまへん」、「事業は、天と地への恩に報いること」と言った。両社は同じ大阪の企業だが、不思議に共通した考え方、創業の理念を持っている。

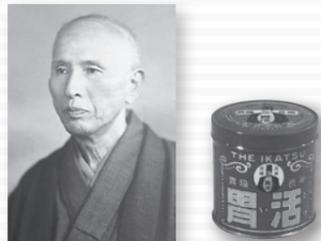
経営理念の7つの宣誓にある「謙虚」「信頼」「絆」「自然、社会、人々への感謝」「奉仕」の心こそ、心に留めるべきである。

ロート製薬に脈々と流れている文化が新しいビジネスモデルと重なって一体になり、掛け算の価値となって、お客様に届くような活動を、今後も期待したいと思う。



社外取締役  
鳥井 信吾

2月22日、大阪で信天堂  
山田安民薬房創業  
資本金3,000円  
胃腸薬「胃活」発売



ロートの原点、  
ここにあり

1899  
(明32)

1909 (明42)  
点眼薬「ロート目薬」発売



1931 (昭6)  
点眼薬「ロート目薬」を新容器  
「滴下式両口点眼瓶」で発売  
目薬業界に大革命を起こした

1949 (昭24)  
ロート製薬株式会社設立  
社長 山田輝郎  
資本金1,000万円

1954 (昭29)  
胃腸薬「シロン」発売



第三の柱を立てる!  
上昇気流の広がり

大阪証券取引市場第二部に上場

1959 (昭34)  
大阪市生野区に現本社および  
工場が完成  
同時に、布施工場他を移転



1975 (昭50)  
スキンケア進出  
●メンソレータム社(米国)より商標専用  
使用权を取得  
●皮膚治療薬「メンソレータム」および医  
薬部外品「メンソレータム薬用リップス  
ティック」を発売  
●メンソレータムブランドを事業第三の  
柱にするべく外皮用剤分野へ進出

1965 (昭40)  
山田輝郎社長が水泳日本再興  
のために私財を投じて「山田ス  
イミングクラブ」を発足  
後のミュンヘンオリンピックで  
金メダリストを輩出した



1985 (昭60)  
妊娠検査薬「チェッカー」薬局で  
発売  
母体保護の観点から妊娠検査薬  
市販の意義を粘り強く訴え続  
け、日本初薬局での発売となっ  
た



1978 (昭53)  
山田輝郎会長就任  
山田安邦社長就任

「製薬会社」の枠を超えて

1991 (平3)  
中国に現地法人「メンソ  
レータム社・中国」を設立



2001 (平13)  
機能性化粧品「Obagi (オバジ)」  
発売、機能性化粧品の草分けとなる  
ビタミンCブームを巻き起こす

2009 (平21)  
山田邦雄会長就任  
吉野俊昭社長就任

2013 (平25)  
食事業、  
再生医療事業へ進出  
●「グランフロント大阪」内に  
旬穀旬菜オープン  
●「再生医療研究企画部」新設



2017 (平29)  
6月10日「ロートの日」制定  
健康へのチャレンジを宣言する  
「健康宣言日」に

1999  
(平11)

創業100周年  
山田安邦会長就任  
山田邦雄社長就任

1997 (平9)  
ベトナムに現地法人  
「ロート・メンソレータム・ベトナム社」  
を設立



1988 (昭63)  
メンソレータム社買収



2004 (平16)  
「肌研 (ハダラボ)」  
発売



2011 (平23)  
震災孤児支援のため  
の「震災復興支援室」  
を新設

2019  
(平31・令元)

創業120周年  
●「禁煙推進企業コン  
ソーシアム」に参加  
企業の垣根を超えて  
喫煙率ゼロを目指す  
●山田邦雄会長就任  
杉本雅史社長就任

4月

- デ・オウ 北斗の拳とコラボ



- ABCクッキングと共同プロジェクト
- ロートジー サッカー日本代表とコラボ
- ロート製薬、ソーシャルパートナー24社と共同で国際眼科支援活動に寄付

6月

- 健康経営宣言 制定
- 第82回定時株主総会 開催
- シオノギヘルスケア(株)と資本提携



健康経営宣言 制定

8月

- 「ミトコンドリアトランスファー」で肌細胞(線維芽細胞)の「老化度」が改善されることを世界で初めて実証

10月

- 卓球Tリーグのオフィシャル アイケアパートナーに就任
- 取引先19社と3年目となる「国際眼科支援活動」を開始

11月

- 発毛剤「リグロEX5」発売
- ロートジー 北斗の拳とコラボ



- 「妊活白書2018」公開  
<https://jp.rohto.com/dotest/>

2月

- 120周年記念式典 全従業員にて自身の働き方・今後のロート製薬のカタチについてディスカッション



- 大阪市生野区と包括連携協定を締結
- 「健康経営優良法人2019(ホワイト500)」に認定
- 「Vロートドライアイプレミアム」発売



2018  
4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2019  
1月

2月

3月

5月

- 女性向け目薬ブランド「ロート リセ」が「美少女戦士セーラームーン」とコラボ



7月

- 「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定

9月

- 塩野義製薬(株)とライセンス契約締結

12月

- 従業員の運動習慣向上にアスリートの知見を活用、日本初「スポーツエールオフィサー」に長友佑都氏が就任
- 19年春夏戦略発表会(フューチャーフェア)を開催。取引先に対して新製品の魅力を伝えるだけでなく、今後の戦略やビジョンも説明。



- 株主様向け会社説明会(東京)を開催

1月

- 野村IR資産運用フェア2019 出展
- 株主様向け会社説明会(大阪)を開催
- 「クロセチン」に近視進行を抑制する可能性があることを発見

3月

- 「オバジ C25 セラムネオ」発売
- ハレス ハミガキ 発売



日常の  
ライフ  
スタイル

既存の  
事業領域

先端の  
ライフ  
サイエンス

▶ 食事業



「薬に頼らない製薬会社」  
「地域の再生と活性」  
「食習慣に対する危機感」



薬は病や怪我を治し、人を癒しますが、「本当の健康は薬が必要でなくなることはないだろうか?」と私たちは考えます。「薬に頼らない製薬会社」を目指し、日々の健康をつくる源である「食」にも挑戦。日本各地で循環型農業や有機栽培に取り組むとともに、薬膳・栄養学の考えを生かしたレストラン「旬穀旬菜」の運営、旬の果実を使ったフローズンフルーツバー「PALETAS」の販売など、製薬会社の枠を超え、「食」からはじまる真の健康に挑戦しています。



▶ ヘルス&ビューティー事業

さらに柱を強化  
マーケティング戦略

1899年に胃腸薬「胃活」を発売以来、一般用医薬品、化粧品などを通じてお客様の健康と美を支えてきました。胃腸薬、目薬、皮膚用薬に加え、1980年代後半からはスキンケア領域にも注力。効果のある機能性化粧品づくりに医薬品メーカーとしての視点を生かし、今や売上の6割を超える軸に成長させました。これからも長年培ってきた研究開発力をバックボーンに、グローバル品質の製品を国内工場で生産し、幅広い世代のお客様の多様なニーズにお応えしていきます。



▶ 再生医療事業

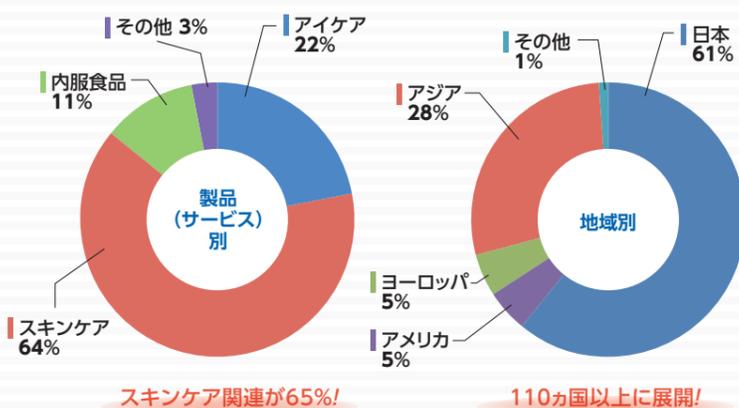
「難治疾患に対する思い」  
「製薬会社としての責務」  
「既存分野への応用」



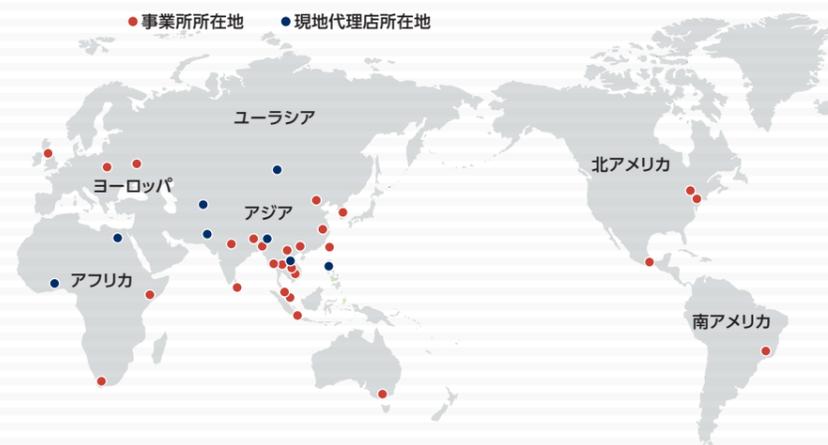
治療法がないと諦めていた病気を、治せる病気に変えていく。大きな可能性を秘めた最先端の技術「再生医療」に、2011年から挑戦しています。長年にわたり、様々な分野で研究開発を重ねてきたロート製薬の強み「細胞を扱う技術」と「無菌製剤技術」を活用。「幹細胞」を用いた医薬品分野のトップランナーを目指し、国内外の研究機関と共同研究を行い、技術開発を進めています。その成果や知見の一部をアイケア、スキンケアにも応用し、より多くの人々の健康と美しさに貢献していきます。



▶ 売上高の構成比 (2019年3月期)



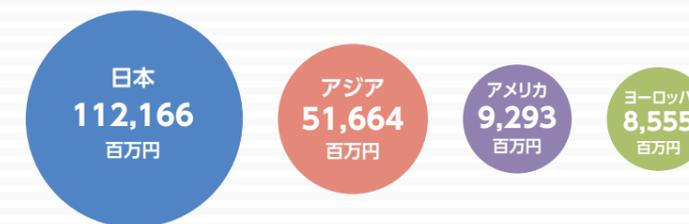
世界110カ国以上に広がる ロートグループ



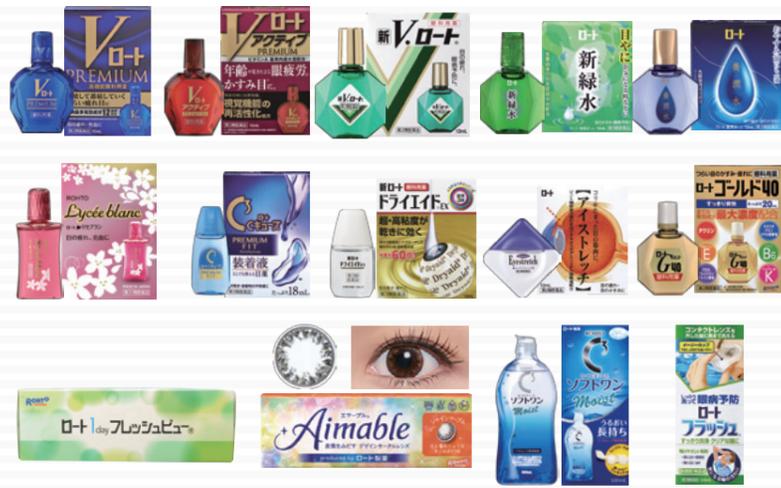
▶ グローバル事業

米国、中国、ベトナムをはじめとする世界の各エリアに現地法人を置き、世界110カ国以上で事業を推進しています。国ごとに異なる環境や文化、嗜好を理解し、その国の人々から本当に必要とされる製品を開発。海外や日本の生産拠点とあわせて、高品質の製品を各国で展開しています。インド、南米、アフリカなど、日本のビジネス戦略が通用しない新興国でも、現地の方々と共に一からスタートし、その国のために活動をしています。今後も世界各国で人々の健康と美をサポートし、社会に貢献していきます。

■ 当連結会計年度のセグメントの概況(売上高)



アイケア  
関連品



注目の  
新商品



痛みを感じるような目の乾き症状を治す!  
「Vロートドライアイプレミアム」



本来の強い歯茎のために 止まらない歯槽膿漏を防ぐ  
「ハレス ハミガキ」



毛穴からハリまで全方位ケア  
「オバジ C25セラム ネオ」



男性用脱毛剤  
「リグロ®EX5」

内服  
関連品  
他



スキンケア  
関連品



# ロート社員から健康を発信!

## ロート製薬 健康経営宣言

わたしたちは、いつまでも健康で毎日生き生きと働くことのできる  
 ‘健康人財’ であふれる会社になることを目指しています  
 社員の健康から社会の健康へ、そして次世代へと  
 健康の輪を広げていくために、さらに健康経営に取り組むことを宣言します



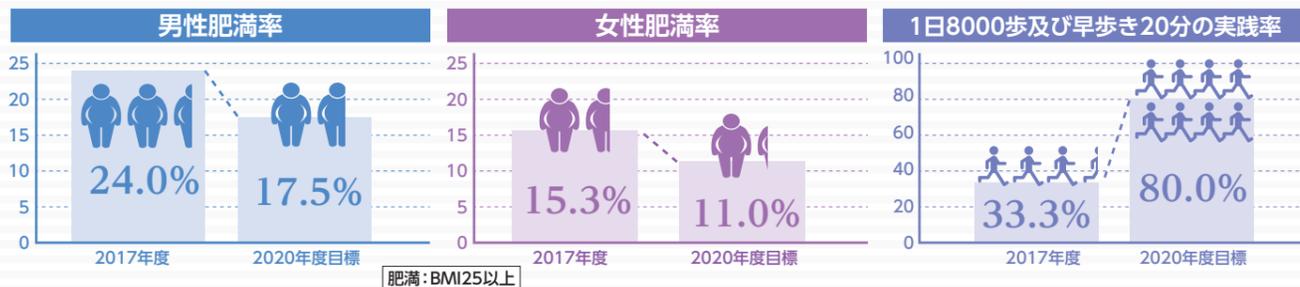
## 1 独自の社内通貨で従業員の健康づくりをサポート！ 健康社内通貨『ARUCO(アルコ)』を導入

社員の健康増進を目的に、2016年に全社員へ活動量計を貸与。毎日8,000歩と早歩き20分を推進する取り組みをスタートしました。また、2019年1月から健康社内通貨『ARUCO』を導入。“健康”をコンセプトに、日々の歩数や早歩き時間、スポーツの実施や非喫煙など健康的な生活習慣の実施状況に応じてコイン（社内通貨）が貯まります。獲得したコインは、心身の健康づくりにつながる幅広い用途で利用できます。



### 2020年に向けた取り組み

当社は、2016年より全社員へ「活動量計」を配布し、1日8,000歩と20分の早歩きの実践を目標に掲げております。さらなる社員の健康に向け、2020年までに下記取り組みを実施していきます。

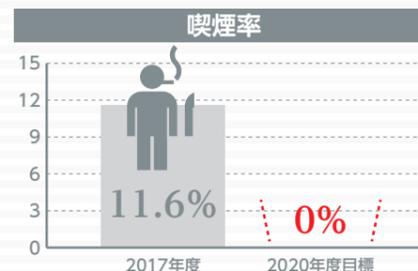


## 世界に健康の輪を広げる

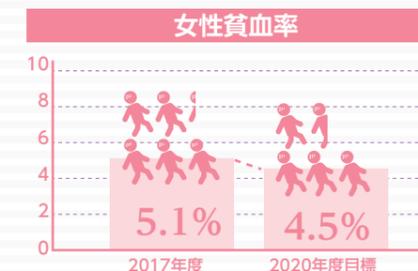
ロート製薬が考える‘健康’とは、単に病気でない、ということだけではありません。心身の健康を基盤として、情熱をもって日々の仕事に取り組み、働きがいや生きがいを持ってこそ、‘真の健康’であり、そういった社員が世の中の健康を支えていく‘健康人財’であると考えています。



2007年に全社禁煙に取り組むなど、これまでも従業員の卒煙に対する取り組みを積極的に実施してきました。さらに取り組みを加速させていくべく、2018年に社内公募で卒煙推進プロジェクトが発足。2020年に喫煙率ゼロを目指して社員主体の活動が始まりました。



2016年4月より、女性社員の乳がん検診、子宮がん検診の無料化。また、2018年度から「潜在性鉄欠乏症（かくれ貧血）」を検査するための血清フェリチン検査を無料化。2020年には女性の貧血率\*を4.5%に引き下げるために、取り組みをスタートしました。 \*血色素量(Hb)10.9g/dl未満



## COLUMN 長く続く、社員の健康づくり

ロート製薬の健康への取り組みは、実は今に始まったことではなく古くから社員に根付いてきたもの。1959年に当時の山田輝郎社長によって、社員の健康を願う思いが込められた、芝生やプール等を備える大阪本社が設立。その後、社員有志による健康プロジェクトが発足し、現在の健康経営推進グループへと進化。様々な取り組みを実施しています。

### ◆社内運動会

40年以上前から、今も不定期に開催される社内運動会は、全国の社員が一同に会す貴重な機会になっています。準備や運営まで社員自身で行われており、普段顔を合わせない社員同士の交流の場はもちろんのこと、体力の向上にもつながっています。



### ◆体力測定

2002年からは、全社員を対象とした体力測定がスタート。握力、肺活量、筋力などを毎年測定することで、健康づくりの意識付けが習慣化されています。測定項目は、社員の健康を考え定期的に検討し直されています。



みちのく未来基金

社会にいかされる企業だからこそ、本当の意味での社会貢献を。

2011年3月東日本大震災で親を亡くされた子どもたちの高校卒業後の進学支援のために設立した奨学基金です。カゴメ株式会社、カルビー株式会社、ロート製薬株式会社の3社が発起企業となって設立し、2014年からはエバラ食品工業株式会社も運営企業として加わり、支援企業も年々増え、業界の垣根を越えた「輪」が広がっています。震災時点お腹の中にいた子どもが大学院を卒業する年齢に達する25年ほどの息の長い活動を続けていきます。



アイメイト協会



株主優待として社会貢献活動への寄付の導入は早くから進めてまいりました。株主のみなさまからのご寄付をお届けしています。

「公益財団法人アイメイト協会」とは日本で最初の盲導犬育成を手掛けられた団体です。全国規模で展開しており、毎年多くの盲導犬育成と視覚障害研修を行っています。

白内障支援

国境を超えて世界中に「見える」喜びを



国境を越えて、世界中に“見える喜び”を届けるため、取引先と共同で国際眼科支援活動を2015年よりスタート。ビジネスの枠を超えて、目薬の売上の一部を眼科医療発展の支援活動に寄付しています。世界の失明原因の1位は白内障で、日本では手術治療の進歩により失明率は低くなりましたが、世界的にみると貧困、医師不足、病院・設備不足といった問題や、手術技術が低く治療できないという理由から多くの方が白内障で視力を失っている現状があります。ロート製薬はこれまでもアジア各国で眼科医療の支援活動を行ってきましたが、ソーシャルパートナーとして取引先と共同で支援活動を行うことで、無償眼科検診や治療の支援、白内障治療用眼内レンズの無償提供、現地の眼科医育成などの活動をより広めていきます。

「見える喜び」をサポート

世界中の人々の「見える喜び」をサポートする活動の一環として、取引先19社と共同で、売上の一部をアジア、アフリカを始めとした白内障治療などの眼科医療の支援活動に寄付を行いましたことをご報告させていただきます。この活動は2016年10月より第1期がスタートし、ロート製薬と小売業の取引先が一体となり「ソーシャルパートナー」として、ビジネスの枠を超えて、社会貢献活動と一緒に取り組む予定です。第3期では、ソーシャルパートナー19社とともに、国際眼科支援活動を行う団体に寄付を行いました。ソーシャルパートナーをはじめ、皆様方の温かいお力添えのおかげで、このような支援の輪が広がりましたことを、心より感謝申し上げます。今後の現地での活動につきましても、引き続きご報告させていただきます。

文化・スポーツ支援活動

■ ガンバ大阪オフィシャルパートナー

2003年から、Jリーグに所属するガンバ大阪とのスポンサー契約を締結。地元地域の活性化と文化の振興を願って、全社を挙げて応援しています。



■ キッザニア甲子園出展

子どもたちに研究開発の楽しさを体験しサイエンスに興味を抱いてもらいたいという思いから、学びと楽しさを合わせた社会体験を提供する「キッザニア甲子園」に「医薬研究所」パビリオンを出展しています。



※ロート製薬はキッザニア甲子園のオフィシャルスポンサーです。

■ 「ふれあいコンサート」活動支援

ロート製薬を含む8社で協賛する、本物のクラシック音楽による次世代支援活動プログラムのひとつ。全国各地のコンサートホールにて、心に響くクラシックの生演奏をお届けしています。

社会・福祉活動

■ かるがも基金

社員有志による積立基金と会社からの支援をあわせたものを原資とし、毎年、社会に必要とされる福祉や環境活動などに役立てています。

■ は一とふる活動

献血、募金、チャリティーオークションによる収益金の寄付や障害者支援などを行っています。

教育・学術振興支援活動

■ 薬育教育支援プログラム

ロート製薬では、児童・生徒の心身ともに健康な生活をサポートするために、社員ボランティアによる「薬育出張授業」の実施や、「薬育プログラム」教材の提供を行います。

■ ロートアワード

日本の眼科研究の発展・向上を願って1995年に設立。日本の大学および、それに準じる研究機関の若手眼科研究者を対象に、毎年すぐれた研究を行っている研究者に表彰と副賞を授与しています。

■ 加齢皮膚医学研究会・ロート賞

加齢皮膚医学に関する基礎的または臨床的調査・研究を広く奨励助成することを目的とし、2007年に設立。毎年、優れた2名の研究者に賞状と研究費を授与しています。

■ ロート皮膚医学研究基金

皮膚医学の向上発展に寄与することを目的として2008年に設立されました。萌芽的研究ならびに若手研究者を積極的に支援し、今後の皮膚医学の発展に貢献したいと考え、毎年3名の研究者に研究費を授与しています。

■ サイエンスキャッスルへの支援

サイエンスキャッスルは中高生研究者のための学会です。自らが課題を見つけその解決に向けて活動できる人材の育成を目的としており、ロート製薬は日本の科学技術の未来を支える中高生を支援しています。

■ 山田科学振興財団

1977年、当時のロート製薬社長山田輝郎が個人財産30億円を拠出し設立。研究援助、来日援助・派遣援助・学術交流集会援助など数多くの援助で、自然科学分野振興に貢献を果たしています。

■ inochi未来博

2020年に未来医療健康都市・関西を目指し、「関西の医療のブランド化・国際化」「市民の健康意識啓発・生活習慣改善」を大きな柱として開催された市民参加型イベント「inochi未来博」に、関西の地に根差した健康産業企業として協賛しています。

■ 女性健康科学研究会

「いつまでも心身ともに健やかで美しくありたい」という女性たちの願いに応えるために発足した「女性健康科学研究会」。あらゆる専門領域の視点から、女性の健康に影響を及ぼす原因に対する調査・研究を行い、疾患予防ならびに治療法の体系化・普及を目的としています。ロート製薬は研究会の活動に共感し、「ウェルエイジング」活動の一環として、研究会と共同で助成を行っています。

## ■ リグロ<sup>®</sup>EX5

第1類医薬品

眠っている発毛の力を覚醒する！  
— 壮年性脱毛症における発毛剤 —

### 【商品特長】

- ① 発毛成分※1「ミノキシジル」を国内最大濃度※2の5%配合した処方。
- ② デザインコンセプトは「次世代」。赤と黒を基調に、気品と強さを表現。
- ③ 使いやすさだけでなく、持ち運びしやすさにもこだわった容器を採用。
  - グリップがききやすく開けやすい、八角形キャップ
  - ヘッド全体を使って薬液を広範囲に塗りこむことができるやわらかヘッド
  - スリムなボトルで出張・外出時にも持ち運びしやすい



※1: 壮年性脱毛症における発毛剤

※2: 国内既承認ミノキシジル製剤中(2018年4月時点)

## ■ オバジ C25セラム ネオ 化粧品

ビタミンC 25%の溶解・安定化に成功  
毛穴からハリまで全方位ケアする極限美容液

### 【商品特長】

- ① 史上最高濃度ピュアビタミンC 配合  
これ以上配合することは不可能と言われたビタミンC濃度25%を、開発構想から15年以上かけて、配合に成功しました。
- ② ロート製薬オリジナル成分「パークロー」配合  
ゴマ科の“デビルズグロー”という植物の根から抽出した、ロート製薬オリジナルのエキス。肌にハリを与える潤い成分です。
- ③ こだわりの香りとテクスチャ  
ビタミンC最高濃度ならではの濃密なテクスチャで、肌にしっかりと密着します。香りは、爽やかなエンリッチドグレープフルーツの香りです。



## ■ Vロートドライアイプレミアム

第3類医薬品

痛みを感じるような(目の乾き)  
症状を治す、ドライスポットケア目薬



### 【商品特長】

- ① 角膜ダメージケア成分「ポビドン」を配合。摩擦による角膜ダメージを軽減。
  - ② 涙に含まれるミネラル成分を補給
  - ③ オイル(ゴマ油) 配合※で、腫を覆うような広がるさし心地を実現
- ※添加物(製剤の安定剤)

## ■ ハレス ハミガキ

医薬部外品

本来の強い歯茎のために  
止まらない歯槽膿漏を防ぐ「ハレス ハミガキ」



### 【商品特長】

- ① 歯ぐきに留まる密着クリームが、薬用成分を歯ぐきに届かせます。
- ② 研磨剤無配合で摩擦が少なく、弱ってきた歯ぐきも傷つけません。
- ③ クリーム状の製剤で歯ぐきを優しくマッサージできます。

ロート製薬株式会社

本社 / 〒544-8666 大阪市生野区巽西一丁目8番1号



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。